

# 防犯カメラに画像認識

日本防犯システム  
AI基盤投入  
マーケットにも活用

日本防犯システム（東京都港区、賀来泉社長、03・6809・1217）は、自社製の防犯カメラに画像認識機能を持たせ、セキュリティ対策だけでなくマーケティング分析などにも活用できる「人工知能（AI）画像認識プラットフォーム

「ズーム AI-ZE（アイゼィング）」を12月中旬に市場投入する。小売り・流通業界など新たな市場開拓につなげる。

AI-ZEは店舗に来る顧客の性別や年齢を判別し、男女比率や製品の注目度合い、売れ筋商品の動向などのマーケティング

AIゼィングに利用できる。防犯カメラと画像認識ソフトウェアなどで構成し、設置工事費などを含めて価格は28万円から（消費税抜き）。

AI-ZEの画像認識技術は業務提携先で、AI技術を手がけるトリプルアイズ（東京都



千代田区、福原智社長）の技術を生かした。日本防犯システムは多様な防犯カメラの開

防犯カメラをマーケティング分析などにも活用できる

▲ 発・製造・販売を手がける。2019年度の売上高は前年度比46・5%増の47億6000万円を見込んでいる。

今後は工場作業者の動線解析など、防犯カメラを軸にしたソリューション提案を強化する方針だ。3年後にはソリューション提案だけで8億円の売り上げを目指す。